



Inclusive(インクルーシブ)

「包み込む、共生」からとっており、一人ひとりの違いを認め、尊重し合い、支え合って地域でともに暮らしていこう、という意味を込めています。

今治市社会福祉協議会
ボランティアセンター

tel 0898-22-6063
fax 0898-34-6915

生きづらさを理解するために ～映画「空の裏側」、ひきこもり講演会～

11月29日(日)、愛媛県「三浦保」愛基金の助成金を活用し、「生きづらさを考える」映画上映会と講演会の2部構成で「第6回いまばり地域福祉フォーラム」を開催しました。

第1部の映画「空の裏側」は、ひきこもり状態から抜け出そうとする30歳の男性を中心に、さまざまな人物が描かれ、社会の影で埋もれている人たちから私たちが目を背けてしまっていることに気づき、相手と向き合い、認め合うことの大切さを教えてくれる作品でした。

クライマックスシーンでは、ゴム巻きだけで飛翔する飛行機に、「決して美しく飛ばなくていい。モタモタ羽ばたいてほしい。」という藤原稔三監督の作品へのイメージのとおり、羽ばたきながら飛ぶ飛行機からは、生きづらさを抱え、葛藤しながらも生きていこうとする力が伝わってきました。



映画「空の裏側」の藤原稔三監督には、リモートでご出演、作品に込めた思いをお話いただきました



ご自身の経験を交え、当事者・家族の現状について語る太田幸伸さん

第2部のひきこもり講演会では、「KHJ愛媛県こまどりの会」の会長である太田幸伸さんが、ひきこもりは、誰にでも起こりえること、さまざまな事件などを背景に、誤った理解が当事者・家族に対する偏見を生み、孤立させてしまうという社会の問題を提起されました。

また、ご自身の経験や新型コロナ禍の社会の状況と重ね合わせながら、「学校や職場での不信感や対人関係の挫折のほか、人によってさまざまな生きづらさを感じており、その不安や苦しさを周囲が理解し、気持ちに共感していくこと、ご本人や家族が孤立することのないよう、安心して本音で語り合える場や自らの役割を感じられる“居場所”が広がってほしい」と思いをお話しされました。

いまばり地域福祉フォーラム「参加者アンケート」より

ひきこもりの方々の苦しみ、そのご家族の方々の苦悩を知らせていただき、ありがとうございました。困難な状況にある方々をもっと理解し、支えていくことができるようになりたいと思いました。

(精神保健ボランティアサークルという 新名幹二さん)

その他、参加者のみなさまから多数のご意見、ご感想をいただきました。

ひとりで悩まずに相談しましょうーひきこもりに関する相談窓口ー

- 愛媛県心と体の健康センター「ひきこもり相談室」

TEL: 089-911-3883

- KHJ愛媛県こまどりの会(ひきこもり家族会)

TEL: 080-3167-2063

メール: oooykk1@gmail.com(担当:太田)



愛媛県
ホームページ

生きづらさを理解し、ともに生きる力を育む「福祉体験学習」

気づこう



つながろう

障がいのある人が「働くこと」「暮らすこと」

—社会福祉法人Signの末竹伸さんからお聞きしました—

10月、今治市立西中学校3年生の総合的な学習の一環で福祉体験学習を行いました。今回の学習では、同じ中学校区内に事業所がある社会福祉法人Signのスタッフと利用者みなさんにも一緒に参加していただき、合理的配慮や共生社会について学ぶ活動が行われました。

Signの末竹さんは、「障がい特性ゆえの生きづらさは、周囲からの理解やちょっとした配慮などの環境調整で、解消されることがあります。この学習を通して、少しでも障がいへの理解を深めるとともに、みんなが暮らしやすい地域づくりに関心を持って

いただけると嬉しく思います。」と話してくれました。

障がいや心の病気を乗り越え、懸命に生きている方の体験談やメッセージは、すごく心に響きました。生きづらさを感じている方々の気持ちに寄り添いながら、私たちも“ともに生きる”とは何か、これかも追求していきたいと思っています。



お互いの個性や違いを認め合い、尊重しあえる社会の大切さについて語るSignのスタッフ



Signの事業所に通所する方が行っている検品・封入の作業を体験する生徒

生徒の感想

- 普段は気付かないところにもピクトグラムやユニバーサルデザインが使われていて、私たちの生活が豊かになっています。そして、こうした配慮に、私もまた恩恵を受けていることが分かりました。学習を通して、誰もが共生できる社会を築いていくことの大切さについて、深く考えることができました。
- 今回の学習で、人はみんな違って、必要な配慮も一人一人違うということを改めて学びました。みんなが互いの違いを受け入れて、私たちの社会全体を幸せにしていきたいと思いました。

社会福祉法人Sign

自立訓練（生活訓練）事業所や多機能型事業所の運営を通して、発達障がいや精神障がい、知的障がいのある方などの自立や社会参加に向けた寄り添い型の支援を展開しています。ひきこもりの状態にあった方に対しても、本人の意思や生活リズム、個々の能力に応じて、相談支援、家事訓練、健康面の支援、創作活動、余暇支援、作業支援、訪問支援を行っています。

地域歳末たすけあい募金へのご協力をお願いします



戦後、国民たすけあい共同募金運動として共同募金が始まりましたが、それとは別に、歳末同情品を募集する動きが各地で起きました。その後、民生委員・児童委員協議会が主催する歳末たすけあい運動として発展し、1959年には、歳末たすけあい募金が共同募金の一環となり、市民からの寄付金や品物を、共同募金として取り扱うことになり現在に至っています。

今年度はコロナ禍で、より一層、地域での支え合いを絶やさないような取り組みが大切になっています。みなさまの温かいご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

福祉情報 INCLU

生きづらさを抱える方々に心を寄せるご意見や活動を募集しています。

〈編集・発行〉今治市社会福祉協議会地域福祉課(地域福祉係)

〒794-0043 今治市南宝来町1丁目9-8 今治市総合福祉センター内

TEL 0898-22-6063 FAX 0898-34-6915

今治市社会福祉協議会ボランティアセンターも、「シトラスリボン運動」の趣旨に賛同し、この運動を広げます。



Citrus Ribbon
PROJECT